

GIGAスクール構想のもとでの 中学校特別の教科道徳の指導について

道徳科におけるICTを活用する際のポイント

➤道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、**よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。**

「中学校学習指導要領 第3章 特別の教科 道徳」

●指導の基本方針

(1) 道徳科の特質を理解する

道徳科は、生徒一人一人が、ねらいに含まれる道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、**内面的資質としての道徳性を主体的に養っていく時間である**ことを理解する必要がある。

『中学校学習指導要領 解説 特別の教科 道徳編』第4章第2節

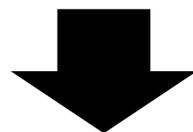
道徳科におけるICTを活用する際のポイント

答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の子供たちが自分自身の問題と捉え、向き合う、「**考え、議論する道徳**」への転換、「**主体的・対話的で深い学び**」の視点からの授業改善が求められる。



道徳科の目標に示された

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習



目標に示された道徳科の学習が、より効果的に行われるようにするための**手段としてICTを活用**

道徳科におけるICTを活用する際のポイント

一般的な道徳科の学習指導過程とICT活用例

段階	学習の目的	主な学習活動	ICTの活用例
導入	<ul style="list-style-type: none">・ 実態や問題を知る。	<ul style="list-style-type: none">・ 道徳的価値について、問題意識をもつ。	<ul style="list-style-type: none">・ 実態や問題の提示 (画像や映像、グラフ等)
展開	<ul style="list-style-type: none">・ 教材を活用して、道徳的価値を理解し、よりよい生き方を考える。	<ul style="list-style-type: none">・ 自分自身との関わりで考える。・ 多面的・多角的に考える。・ 自己の(人間としての)生き方についての考えを深める。	<ul style="list-style-type: none">・ 教材の提示 (画像や映像等)・ 自分の考えをもつ (ICT端末に示す)・ 他者の考えを知る (ICT端末に共有する) (表やグラフ等)・ 話し合う (直接的な対話)・ 自己を見つめる (ICT端末に蓄積する)
終末	<ul style="list-style-type: none">・ よりよい生き方の実現への思いや願いを深める。	<ul style="list-style-type: none">・ 道徳的価値についての自己実現への意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none">・ 生活の様子への提示 (画像や映像等)・ 外部の方の言葉への提示 (画像や映像等)

中学校・第2学年・道徳科・主題名「他から謙虚に学ぶ姿勢」

内容項目：B 相互理解・寛容①

➤育成を目指す資質・能力

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

➤ICT活用のポイント

ICT端末を活用することで、道徳科の学習において求められる、**生徒一人一人の感じ方や考え方をこれまで以上に生かすことが可能となり**、生徒が自分との関わりで道徳的価値を理解したり、物事や道徳的価値を多面的・多角的に考えたり、自分の問題として受け止め深く自己を見つめたりするなどの学習につなげられる。

導入

展開

終末

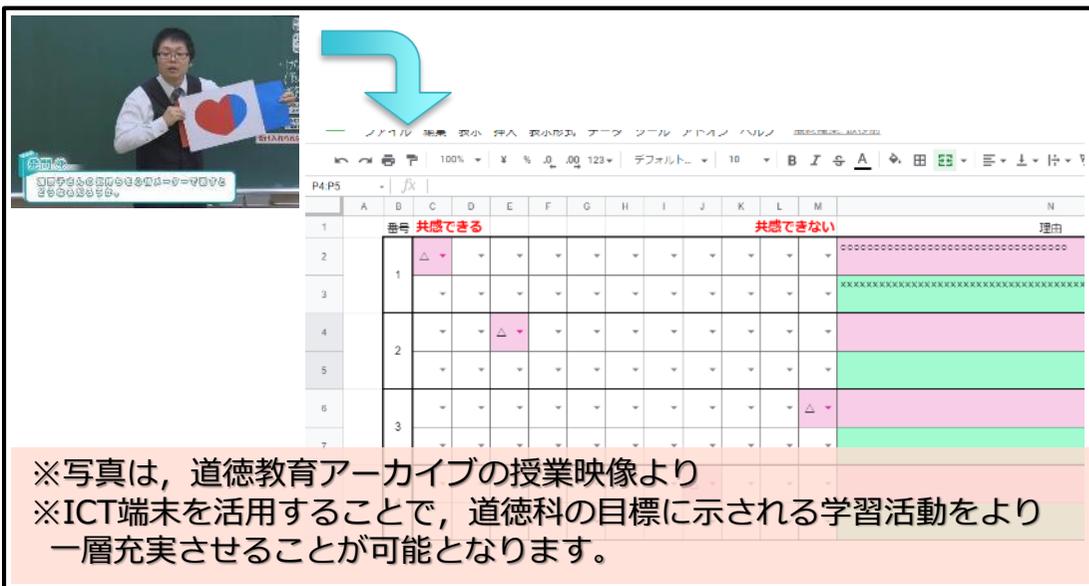
➤事例の概要〈多面的・多角的に考える〉

- ①自分が登場人物の立場だったらどのような気持ちになるかを心情メーターで表す。
- ②異なる立場の生徒を代表させたパネルディスカッションを行う。
- ③パネルディスカッション後、改めて心情メーターで自身の気持ちを表す。
- ④周囲の生徒とパネルディスカッション後の気持ちの変化について意見交流を行う。

中学校・第2学年・道徳科・主題名「他から謙虚に学ぶ姿勢」

内容項目：B 相互理解・寛容②

【事例におけるICT活用場面①】



※写真は、道徳教育アーカイブの授業映像より
※ICT端末を活用することで、道徳科の目標に示される学習活動をより一層充実させることが可能となります。

- ・表計算ソフトなどで作成した心情メーターを共有し、生徒に自身の気持ちの位置と理由を入力をさせる。

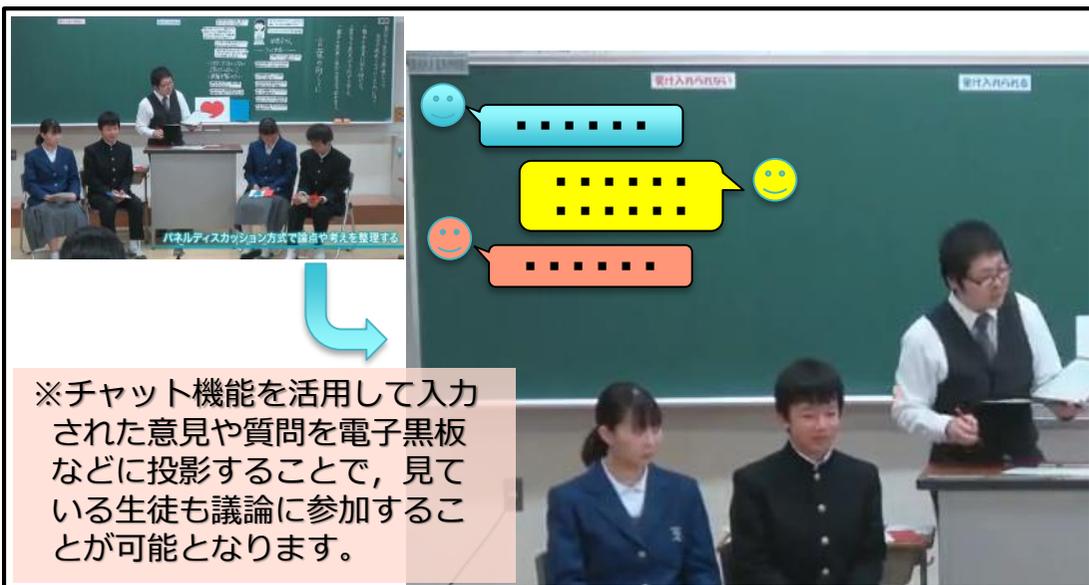
〈ICT端末活用のメリット〉

- 全生徒の状況を短時間で、教師も生徒も把握することができる。

→より多くの多様な感じ方や考えを知ることが可能となり、比較したり、分類したり、疑問点について話し合ったりするなどの学習活動を充実させることにつながる。

- 活用したソフトや機能：表計算ソフト、学習支援ソフトのファイル共有機能

【事例におけるICT活用場面②】



※チャット機能を活用して入力された意見や質問を電子黒板などに投影することで、見ている生徒も議論に参加することが可能となります。

- ・チャット機能を活用し、パネルディスカッション中に質問などを入力させる。

〈ICT端末活用のメリット〉

- 代表生徒だけでなく、口頭による発表が得意でない生徒も含め、より多くの生徒の考えを把握することができる。

→代表生徒の感じ方や考え方を踏まえ、他の生徒の考え方もパネルディスカッションに反映させることが容易となり、多くの生徒が参加して議論を深めることにつながる。

- 活用したソフトや機能：学習支援ソフトのチャット機能

中学校・第2学年・道徳科・主題名「他から謙虚に学ぶ姿勢」

内容項目：B 相互理解・寛容①

➤ 育成を目指す資質・能力

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

➤ ICT活用のポイント

授業後にアンケートを行う場合、これまでは、その場で全体の状況を把握することができなかったが、ICTを活用することで、授業中に行うアンケートでもその場で結果を確認することが可能となる。

導入

展開

終末

➤ 事例の概要 〈授業前後の気持ちや考え方の変化を整理する〉

- ① ねらいに含まれる道徳的価値に関わるアンケートを行う。
- ② アンケート結果から、道徳的価値に関わる実態や問題をつかむ。
- ③ 授業後に、導入段階で実施した同じアンケートを行う。

中学校・第2学年・道徳科・主題名「他から謙虚に学ぶ姿勢」

内容項目：B 相互理解・寛容②

【事例におけるICT活用場面】



※従来は、事後のアンケート結果をその場で確認することは難しかったが、アンケート機能を使えば容易となります。

道徳科アンケート

他の人からの意見（助言や忠告）に、謙虚に耳を傾けることができますか？

できる

できない

他の人へ助言や忠告をしたけど、聞いてもらえなかった経験はありますか？

ある

ない

送信

他の人からの意見（助言や忠告）に、謙虚に耳を傾けることができますか？

33 件の回答

回答	割合
できる	87.9%
できない	12.1%

他の人へ助言や忠告をしたけど、聞いてもらえなかった経験はありますか？

33 件の回答

回答	割合
ある	45.6%
ない	54.4%

- ・ アンケート機能を活用して、アンケートに回答させる。

〈ICT端末活用のメリット〉

- これまでは、授業後にアンケートをとっても、その結果をすぐに確認することはできなかったが、アンケート機能を活用することで、その場で生徒の状況を確認することができる。

→終末段階で導入段階と同じアンケートを実施し、その場で回答状況を確認することができる。授業後の結果を踏まえ学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめたり、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりする学習活動につなげられる。

- 活用したソフトや機能：アンケート機能